



# 中川だより



墨田区立中川小学校  
墨田区立花5丁目49番地4号  
TEL 03 (3617) 7921

NAKAGAWA

令和8年6月

中川小ホームページ <http://www.sumida.ed.jp/nakagawasho>

## 開校75周年 12月12日(土) 記念式典開催

- よく考え、進んで学習する子
- 思いやりの気持ちを持ち、仲良くする子
- からだをきたえ、ねばり強く努力する子



## 日光の彫像

校長 三ヶ島 誠一郎

いよいよ6月になります。1年生もすっかり学校になれ、元気に過ごしています。保護者の皆様のご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。

さて、私は教員時代、6年生を担任する機会に多く恵まれ、そのおかげで日光によく行きました。そして日光に行けば、東照宮は必ず拝観しました。東照宮の陽明門を見るたびに、「さすが世界に誇る建築物。彫像もすごい数(500以上あるそうです!)。美しいし、こんなにつくるのはたいへんだったろうな。」

などと感心していました。何度も陽明門を見るうちに、どうして正面にこの彫像を作ったのかとか、この彫像にはどんな意味があるのかについても興味がわいてきます。担任する6年生児童の調べ学習を充実させるためにも、書籍やインターネットを用いて自分でも調べるようになりました。

調べるうちに驚いたことがあります。陽明門に飾られている「唐子(からこ:中国風の服装をした子供)の彫像」です。最初は子供が遊んでいると思っていたのですが、よく調べると、なんとケンカ(いじめにも見える)している子がいることを知りました。また、雪で作った犬の像を壊そうとする子、それに対して顔を覆(おお)ってまるで泣いているように見える子もいるというのです。実際に実物を目で見て確認し、びっくりしました。

これにはしっかりと理由があります。徳川幕府の「平和とは子供が子供らしくいられる世界のこと」という考えの表れだそうです。子供はケンカするもの、子供はいたずらやときには意地悪もしてしまうもの、泣く子もいる、そしてそれらすべてを受け入れたうえで大人は子供を育てていく…。

教員になりたての頃、「子供はどのようにして何度も同じことを注意されるのか」「どうしてこんなことをするのか」と悩んだ覚えもありました。けれども、「それが子供」であり、喧嘩をする、意地悪やいたずらもする…。それこそが平和の姿であり、よいも悪いも全て受け止めたうえで、教育を続けていく…。そう、東照宮に教えてもらった気がしました。

6月2日(火)~4日(木)と、6年生と日光野外体験活動に行ってきます。今まで、6年生は中川小の最高学年として素晴らしい姿を随所で見せてくれました。もしかしたら、不適切な行為があるかもしれません。もし、そんなことがあっても、そんな子供らしさが発揮できる今の日本の平和のありがたさをかみしめながら、過ごしたいと思います。もちろん、悪いことをした場合はしっかり叱りますけれどもね(笑)。

### <追伸>

前号の学校だよりで私のぎっくり腰を話題にした際、児童、保護者・地域の方、学校関係者と本当に多くの方から「その後、大丈夫ですか?」とお言葉を掛けてもらいました。ありがとうございます!もうすっかり大丈夫です!(もうならないことを祈っています(笑))

